

庄川水系河川整備計画の目標設定と計画メニューの骨子について

項目

整備計画目標

洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減

【戦後最大規模の洪水への対応】
庄川の洪水氾濫から沿川地域を防御するため、計画規模の洪水への対応を長期的な目標としつつ、本計画では戦後最大洪水に相当する規模の洪水を堤防設計水位(H.W.L)以下で安全に流下させることを整備の目標とする。

【「急流河川」特有の流水の強大なエネルギーに対する堤防等の安全確保】
急流河川特有の洪水時の流水の強大なエネルギーに対する堤防の安全を確保するため、急流河川対策を行い、氾濫被害の防止を図る。

【大規模地震等への対応】
近年、隣県で頻発している能登半島沖地震、中越沖地震に鑑み、地震による損傷・機能低下の恐れのある河川管理施設について必要な対策を実施し、地震後の壊滅的な浸水被害を防止する。

【危機管理体制の強化等】
河川の増水や堤防が決壊した場合の氾濫域の拡大が急激であることを踏まえ、ハード・ソフト両面で水防管理体制の強化・充実を推進し、内水も含め被害を最小化する「減災」を図る。

河川の正常な機能の維持及び流水

【流水の正常な機能の維持】
庄川の水が恩恵をもたらす地域全体で合理的な水利用を促進するとともに、アユをはじめとする多様な動植物の生息、生育環境を良好に保つなど庄川の流水の正常な機能を維持するよう努める。

【良好な水質の維持】
継続的なモニタリングを実施するとともに、関係機関と連携して良好な水質の維持に努める。

河川環境の整備と保全

【庄川の自然環境の保全及び生物の生息・生育環境の連続性の確保】
湧水によるワンド・タマリや連続した早瀬・平瀬・淵等における豊かな自然環境や広い石河原や砂州などの河川景観の保全に努める。また、河道内だけでなく堤内地も含めて動植物の生息・生育環境の連続性に配慮する。

【河川空間の利活用、歴史的・文化的施設の活用、連携・協働による河川管理の推進】
流域の歴史、文化、自然との調和を図り、アユ釣り、川遊び、スポーツ、祭事等の活動などの水辺空間や河川利用に関する多様なニーズを踏まえ、地域と水辺一体となって、人と河川との豊かなふれあいを増進するとともに、住民の河川美化活動と連携した住民参加型の河川管理を推進する。

【庄川の機能を活かした効率的・効果的な現状維持管理の実施】
「治水の利便性・環境・効果の達成を確保するため」ともにレベルを状況に応じた改善策を講ずる。

工事に係る事項

維持管理に関する事項

- ① 堤防の整備(量的・質的)
- ② 和田川合流点処理
- ③ 橋梁架け替え
- ④ 利賀ダムの整備(洪水調節)

- ⑤ 急流河川対策(根継ぎ護岸等)

- ⑥ 大規模地震等への対応(耐震対策の実施)

- ⑨ 利賀ダムの整備(内水軽減)

- ⑩ 利賀ダムの整備

- ⑯ 工事による環境への影響軽減
- ⑰ 水域ネットワークの形成

- ⑱ 庄川ふれあいロード整備
- ⑲ 地域の歴史・自然や施設等を踏まえた河川環境整備

- ⑳ 河道の維持管理
- ㉑ 河川の巡視・点検、調査河川管理施設の点検・維持管理

- ⑥ 大規模地震等への対応(避難訓練等)

- ⑦ 霞堤の機能維持、保全
- ⑧ 防災情報の質の向上と伝達の迅速化等

- ⑪ 関係水利使用者との湯水調整
- ⑫ 流況等のモニタリング

- ⑬ 水質調査の継続実施
- ⑭ 水質事故時の対応

- ⑮ 環境モニタリング

- ㉒ 住民参加の河川管理

サイクル型維持管理の実施